

インフルエンザについて

養護教諭 樋口紗良

コロナ禍の過去2年間は、インフルエンザの感染者が全国的にも極めて少なく、流行は起こりませんでした。しかし、今年に入ってから、インフルエンザに罹患したという声をちらほらと耳にするようになり、区内でも学級閉鎖となる学校もあるなど、流行が心配されます。2年間国内での流行がなかったことで、社会全体のインフルエンザに対する集団免疫が低下していると考えられおり、一旦感染が起ると、大きな流行となる恐れがあります。インフルエンザも新型コロナウイルス感染症も、対策に大きな違いはありません。手洗いや咳エチケットを普段から心がける、規則正しい生活習慣で体調を整える、人込みを避けるなど、基本的な感染症対策を引き続きよろしく願いいたします。

今年度より、インフルエンザについては、登校許可書の提出が不要となりました。

出席停止期間は、「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで」とされています。（発症した日を0日とします。）なお、登校可となってもお子さんの回復の様子などを十分考慮し、必要に応じて医師ともご相談のうえ、学校へ登校を開始する日をお知らせください。



ぐんぐん育て 2年生！

2年担任 梅澤 泉

2年生は、年間を通して、野菜作りを取り組んでいます。学校の中庭にある花壇を利用して、夏には、ナス、ピーマン、キュウリ、ミニトマトを収穫しました。冬には、カリフラワー、芽キャベツ、じゃがいも、いちごを栽培中です。東京のど真ん中、ビルに囲まれたこの新宿で、野菜がきちんと育つのかと心配でしたが、たくさんの太陽の光と子ども達の笑顔を栄養にして、夏のピーマンは大豊作になりました。子ども達が持ち帰って食べただけでなく、給食にも活用してもらいました。自分たちで育てた野菜は、格別美味しい味がしました。

植物や生き物を育てると、どんなものにも命があることを感じるすることができます。そして、私たち人間もこの自然の一部であることを自覚しなくてはなりません。子ども達の未来は地球の未来でもあります。文明社会と自然の一部である人としてのバランスを上手に取りながら、美しい地球を守ってほしいと願っています。この寒さに負けずぐんぐん育つ野菜と同じように、2年生の子ども達が逞しく、賢く、そして優しく成長していてくれることを嬉しく思います。

「ぐんぐん育て、2年生！」



美味しそうなカリフラワー